

平成28年度 箕輪北小学校グランドデザイン

◇箕輪町の願い

『ひと味ちがう箕輪の子ども』
心身の豊かな成長、国際社会の中で生きる力
読育・英語・運動遊び・ものづくり・食育・環境

◇児童・保護者・地域から寄せられる学校への期待（学校評価より）

- あいさつあふれる明るい学校
- 安心・安全な楽しい学校
- 児童一人ひとりの学力の向上

平成28年度重点活動

自分を好きになる学校 ～分かった喜び・できた喜び・認められた喜びを味わう～

具現化に向けた取り組み

学校教育目標

まなぶ子<知>

きたえる子<体>

つとめる子<徳>

読書

◎読書を楽しみよく学ぼう

元気なからだ

◎よく遊びからだをきたえよう

あいさつ

◎自分からあいさつにつとめよう

- ・毎月7日「読書の日」として親子読書充実
- ・朝読書による読書時間の確保と図書館利用の推進
- ・職員からの本の紹介や読み聞かせ
- ・読書ノートを活用した読書記録
- ・読書旬間への取り組み
- ・児童会「おすすめの本」への取り組み
- ・ふきのとうの会の方の読み聞かせ
- ・PTAと連携し、「この本よんで」の取り組みと読書カードを利用した親子読書の充実
- ・町ドリーム号の利用

- ・毎週水曜日、全校遊びの時間「はつらつタイム」の実施
- ・朝の活動「学年運動」（週一回）の実施
- ・学校行事への本気の取り組み
運動会(前期)、マラソン大会に向けたランランタイム(後期)
- ・健康教育の推進(学校保健委員会、地域食料給食、性教育旬間、薬物防止講演会)
- ・児童会「運動大会」「なかよし遊びの日」「給食週間」への取り組み
- ・柳沢プログラムでの運動遊び(低学年)
- ・課外陸上クラブでの大会出場(中高学年)

- ・「毎月11日はあいさつの日」への取り組み
- ・目指すあいさつの共有化
- ①大きな声で「相手に届くあいさつ」
- ②会った人誰でも「お客さんにこんにちは」
- ③相手より先に「おはよう」「さようなら」
- ④目を見て笑顔で「心のあいさつ」
- ・職員が率先し「あいさつ」のあふれる学校・児童会「あいさつ運動」への取り組み
- ・北小通学パトロール、PTA通学パトロールとの連携
- ・保護者と連携した家庭でのあいさつ運動

基礎・基本の定着と分かる授業

- 1 授業改善を進めるための重点的な取り組み
 - (1) 「教えて考えさせる授業」の実践
 - ・学び合い学習を通し児童自身に考えさせ、活用力を伸ばす
 - (2) 学習習慣の定着を目指した学習の三方
 - ・話し方・聞き方・書き方の基本を教室に掲示し、意識づけの日常化を図る
 - (3) 基礎基本の定着を図るドリル学習
 - ・朝10分間のこつこつタイムを行う
 - (4) 家庭学習の習慣化
 - ・家庭学習の手引きを活用し、「予習」を勧める
 - (5) NLT(町英語指導教師)外国語活動の充実
 - ・箕輪町の外国語活動カリキュラムを全学年で実施する
- 2 児童につける力が身についたかどうかを評価するための検証方法
 - (1) 全国学テ(6年)、PC調査(5年)、CDT(全学年)の客観テストを実施、分析し授業改善に活かす
- 3 教職員の指導力向上に向けた校内外研修
 - (1) 連学年での研究グループ
 - ・児童の発達段階や実態に沿った日常的な研究を行う
 - ・子どもにわかる板書のあり方の研究をすすめる
 - ・授業参観で学年統一した授業を作り保護者に発信する
 - (2) グループ内参観の日常化
 - ・視点や場面を決め、短時間でもお互いの授業を見合う
 - (3) 講師を招いての全校研究授業
 - ・教えて考えさせる授業の指導者を毎年招き、全校での研修会を行う
 - (4) 1年に1回は校外研修
 - ・教育センター、授業研究会に全職員が年に1回は参加する

共に生きる喜びに満ちた楽しい学校

- 1 子どもを勇気づけ、自分を好きになる子どもの育成をめざした学級作り
- 2 「チーム北小」による不登校対策
 - ・支援体制作り
 - ・家庭訪問、対外機関との連携
- 3 多様な児童一人ひとりへの支援
 - ・特別支援学級児童の位置づけ
 - ・個に応じた支援体制作り
 - ・QUを使った児童理解
 - ・町特別支援員、町相談員やスクールカウンセラーとの連携
 - ・校内研修によるスキルアップ
- 4 異年齢児童による活動やなかよし月間での人権感覚を高める活動
 - ・毎週水曜日に、地区登校班での集団下校
 - ・姉妹学級による活動
 - ・なかよし班活動
- 5 心を磨く無言清掃
- 6 学びや育ちをていねいにとらえる二期制
- 7 安全・安心の取り組み
 - ・避難訓練、交通安全教室、防犯訓練等の実施
 - ・電子メディアの害から子どもを守るPTA宣言

家庭・地域と連携した開かれた学校

- 1 ふるさと学習『箕輪学』により地域の自然や人材を生かした郷土愛を育む活動の促進
 - ・クラブ活動等での地域講師の依頼
 - ・読み聞かせボランティア「ふきのとうの会」の依頼
 - ・北小通学パトロールとの連携
 - ・地域の田畑を借りて、作物栽培
 - ・地域施設見学学習・自然学習
- 2 「学校評議員会」「北小を考える会」「地区懇談会」を通しての情報交換会
- 3 子どもが地域に出る活動の奨励
 - ・地区行事への参加(合唱団・鼓笛隊・寺子屋)
 - ・アルミ缶回収
 - ・PTA作業(年2回)
 - ・長田の森での巣箱かけ(4年)
 - ・交通少年団の活動
 - ・フレンドワークとの交流(児童会)
- 4 グレードアッププランの活用
 - ・グレードアッププラン説明、学習会
 - ・学年学級懇談会での情報交換
 - ・学校行事、活動との関連づけ
- 5 地域への発信
 - ・HP ・学校便り
 - ・学年、学級通信
 - ・ほけん・給食・図書館だより

